会　　告

［ゴシック体は本会主催］

開　催　日	催　物　ご　案　内　（　）：開催地	参　加　費（テキスト代）	申込締切期　日　等	掲　載　号
11月11日（水）	セミナー「岩石蓄熱エネルギーマネジメント技術実証施設の見学」（島田）	9月30日	20名	**第84巻9号**
13日（金）	日本希土類学会第44回講演会（横浜）	10月16日	－	第84巻9号
16～19日（月～木）	16回国際有機化学京都会議（IKCOC-16）（京都）	－	－	第84巻4号
20～23日（金～月）	14th International Vanadium Symposium（V14）（大阪）	－	－	第84巻4号
21日（土）	**支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会（岡山）**	**無料**	－	**本　号**
21日（土）	**2026年度 学生シンポジウム（東京）**	**無料**	**11月6日 200名**	第84巻10号
26日（木）	第10回天然物化学研究会（東京）	－	－	本　号
27日（金）	近化資源・環境セミナー「カーボンニュートラル実現に向けて～バイオエタノール・バイオ由来材料活用の現状と今後の展望～」（大阪）	－	40名	本　号
27日（金）	**有機合成化学協会関東支部 ミニシンポジウム千葉2026（千葉）**	**無料**	－	第84巻10号
28～29日（土～日）	**第91回有機合成化学協会関東支部シンポジウム　－新潟シンポジウム－（新潟）**	－	－	**第84巻9号**
12月2日（水）	**有機合成化学講習会（東京）**	－	－	**本　号**
3～4日（木～金）	第49回フッ素化学討論会（静岡）	－	－	第84巻8号
4日（金）	日本プロセス化学会2026ウィンターシンポジウム（東京）	－	－	本　号
19日（土）	2026年度第2回（第40回）プロセス化学会東四国地区フォーラムセミナー（徳島）	無料	－	第84巻10号
20日（金）	**来日学者講演会（広島）**	**無料**	－	**本　号**
2027年 1月21日（木）	**2027新春特別フォーラム（東京）**	－	－	**本　号**

本誌会告への掲載について　本誌会告欄では，本会の本部・支部が主催または共催する催しものについては必要な範囲で全文を掲載いたします。他学協会等の主催するもので，本会が協賛の催しものは一部の内容のみの掲載とさせていただいております。協会HPにも掲載しております。原稿締切は掲載号の前々月25日（2027年1月号は11月25日）厳守です。なお，開催の可否等，詳細は主催団体のHPをご覧下さい。

支部奨励賞受賞講演並びに特別招待講演会

主催　有機合成化学協会中国四国支部

日　　時：11月21日（土）14：00～16：30

会　　場：岡山大学工学部1号館3階大講義室（岡山市北区津島中3-1-1）

プログラム：

1. 受賞式および支部奨励賞受賞講演

「ラジカルの精密制御を基盤とする光化学反応」（岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域）田中健太

2. 特別招待講演会

「有機ラジカル触媒の創製と応用」（名古屋大学トランスフォーマティブ生命分子研究所）大井貴史

参 加 費：無料

問 合 先：700-8530 岡山市北区津島中3-1-1　岡山大学学術研究院環境生命自然科学学域　三浦智也（TEL 086-251-8096, e-mail: tmiura@okayama-u.ac.jp）

第10回天然物化学研究会 －天然物化学の新時代に挑む多角的研究－

主催　天然物化学研究会
共催　日本農芸化学会関東支部
後援　有機合成化学協会，日本化学会

日　　時：11月26日（木）13：00～

会　　場：東京農業大学世田谷キャンパス 横井講堂

プログラム

1. 酸化的微生物変換を利用した生物活性天然物の鏡像選択的化学酵素合成（東京大学農学生命科学研究科）小倉由資
2. キノコ由来の生物活性物質に関する化学的研究（岩手大学農学部）呉静
3. イネの抗菌性二次代謝産物の生合成とその制御機構（帝京大学理工学研究科）宮本皓司

参 加 費：シンポジウムへの参加は，無料です（参加申し込みも必要ありません）。意見交換会は，一般 2000 円，学生 1000 円の参加費をいただきます。詳細は HP（https://www.nodai.ac.jp/chemistry/original/natural/）をご覧ください。

問 合 先：156-8502 東京都世田谷区桜ヶ丘 1-1-1　東京農業大学生命科学部　川田紘次郎（e-mail: kk208130@nodai.ac.jp）

近化資源・環境セミナー「カーボンニュートラル実現に向けて ～バイオエタノール・バイオ由来材料活用の現状と今後の展望～」

主催　近畿化学協会
協賛　有機合成化学協会関西支部

日　　時：11 月 27 日（金）13：00～19：00

会　　場：大阪科学技術センター 4 階 404 号室（大阪市西区靭本町 1-8-4）

プログラム

1. サトウキビ由来バイオエタノールの今後の展望－多収性サトウキビとライフサイクル設計による国産バイオエタノールの可能性－（東大先端科技研）小原聡
2. 日本における E10/E20，SAF の本格導入について（日本環境エネルギー開発）澤一誠
3. バイオものづくりを巡る政策動向と今後の展望（近畿経済産業局）講演者未定
4. 国内におけるバイオエタノール製造技術の開発動向と今後の展望（エネルギー総合工学研究所）森山亮
5. 交流会

定　　員：40 名（定員になり次第締切）

参 加 費：主催・協賛団体会員 15,000 円，大学・官公庁 7,000 円，会員外 20,000 円，学生 5,000 円（講演要旨・消費税含む）

参加申込方法：近化資源・環境セミナーの HP（https://kinka.or.jp/event/2026/r8eco.html）から参加登録ください。

申 込 先：550-0004 大阪市西区靭本町 1-8-4　大阪科学技術センター 6 階　近畿化学協会（TEL 06-6441-5531，FAX 06-6443-6685，e-mail: seminar@kinka.or.jp）

日本プロセス化学会 2026 ウィンターシンポジウム

主催　日本プロセス化学会
協賛　有機合成化学協会，分離技術会
協力　化学工業日報社

日　　時：12 月 4 日（金）

会　　場：タワーホール船堀（134-0091 東京都江戸川区船堀 4-1-1）

プログラム：

〈教育講演（順不同）〉杉本直樹（国立医薬品食品衛生研究所），原祐樹（メトラー・トレド）

〈招待講演（順不同）〉内川治（東和薬品），小野澤俊也（産業技術総合研究所），櫻谷憲司（第一三共），田良島典子（徳島大学）

〈ISPC 優秀賞受賞講演〉小宮志央（中外製薬株式会社），杉山洸（アステラス製薬株式会社），新島淳（エーザイ）

参加費・参加申込方法：シンポジウム HP（https://cdsympo.com/process2025w/index.html）参照

事前参加登録締切：11 月 6 日（金）

問 合 先：103-8485 東京都中央区日本橋浜町 3-16-8　（株）化学工業日報社企画局「日本プロセス化学会 2025 ウィンターシンポジウム」デスク（TEL 03-3663-7936，FAX 03-3663-7861，e-mail: sympo@chemicaldaily.co.jp）

来日学者講演会

主催　有機合成化学協会中国四国支部，広島大学薬学部

日　　時：12 月 20 日（金）10：00～11：30

会　　場：広島大学薬学部第 3 講義室（広島市南区霞 1-2-3）

講　　師：Prof. Jean-François Brière（Université de Rouen Normandie）

演　　題：Catalytic & technology assisted synthesis of chiral heterocycles

参 加 費：無料

連 絡 先：734-8553 広島市南区霞 1-2-3　広島大学大学院医系科学研究科（薬）　熊本卓哉（TEL 082-257-5184，e-mail: tkum632@hiroshima-u.ac.jp）